

自己点検・評価「多摩美術大学 2000 - 2003」企画 G 議事録

- ・日 時：2004.6.8（火） 13:00～17:00
- ・場 所：上野毛本館会議室
- ・参加者：森下教務部長（自己点検・評価部会長） 柿本総務部長、恩蔵総務課長、
中島経理次長、荒川教務事務部長、田中造形表現学部事務課長、総務・石井
- ・議事概要
 - 以下の事項について、検討を行った。
 - 共通統計データ
 - 各セクションへのヒアリングポイント
 - 外部評価者
 - ・決定事項
 - 共通統計データ
あまり細かすぎても、各グループへ方向性を提示しているようになるので、基本情報とする。各グループから出された資料は、部会メンバー全員が見ることができるので
随時必要な資料を使って貰ったら良いだろう。学校基本調査などをまとめておく。
 - 各セクションへのヒアリングポイント
理事長、学長、教務部長、学部長が、各セクションを回り、意見交換すること自体が
大切であるので、細かいことは取り上げない。ヒアリングの結果は、箇条書き程度の
レジュメにまとめ、教育・研究グループの討議材料とする。ヒアリングポイントは、
スケジュールとあわせ連絡する。
 - 外部評価者
 - ・選定のポイント
教育（美術教育なら尚良） 管理運営、学識経験をそれぞれ有する者3名で、評価
して貰う。
 - ・評価の基準
今回はあくまでも大学独自で行う第三者評価の“練習”として考える。部会報告に
何らかのアドバイスを頂くということではどうか？評価基準については、評価者と
打合せして詰めていく。
 - ・連絡事項
 - ・だれに評価を依頼するか、7月末までにあたりを付け、理事長、学長と協議する。
 - ・グループ報告書のめきりは、8 / 15とする。
 - ・6 / 22、23にグループ長による打ち合わせを行いたい。日程調整のこと。

以 上